

大森東地区管内人口		
人口	男	10,203人
	女	9,195人
	計	19,398人
世帯数	10,639世帯	
(令和5年9月1日現在)		

# おおいがし 地域情報



### 手をつなぐ5自治会

- 大森東自治会 (平林 敏夫 会長)
- 大森東四丁目自治会 (伊藤 音嗣 会長)
- 川端自治会 (平林 盛久 会長)
- 大森南自治会 (平林 茂 会長)
- 森ヶ崎自治会 (野口 多加志 会長)

発行：地域力推進大森東地区委員会 編集：地域情報紙「いっつわ」編集委員会

【編集委員長】須山 芳明 (大森東四丁目自治会) 【副編集委員長】野村 勝恵 (大森東自治会) / 福本 享子 (川端自治会)  
 【編集委員】田中 文雄 (大森東自治会) / 伊藤 音嗣 (大森東四丁目自治会) / 平林 典明 (川端自治会) / 野口 弘子 (大森南自治会) / 魚住 みさ子 (大森南自治会) / 佐藤 恵美子 (森ヶ崎自治会) / 安藤 澄枝 (森ヶ崎自治会) 【事務局】和田 颯太 (大森東特別出張所)

## 久しぶりの帰省

大森南自治会 匿名

コロナ禍でお盆の帰省が出来なかったのが今年は、四年ぶりに行って来ました。コロナ禍になる前までは毎年お盆には兄弟の家族が一同に集まり楽しい一時を賑やかに過ごしていました。がここ三年間はそれが出来ませんでした。今年は、と思っていた所に娘の一番上の子供(孫)が「バアちゃん茂原に行つて皆に逢いたかったら僕が車で連れて行くよ」と言ってくれたので「うれしいなあ、行きたかったけどどうしようかなア」と思っていたんだけど「孫が「元気なうちに皆に逢つておいた方がよいよ。」と。今回のコロナで思いがけない人が亡くなったり、後遺症で辛い思いをした人を見ていて怖い思いをしたので孫の成長とやさしさに嬉しく思い孫の運転する車で四年振りに行つて来ました。だが台風の進路状況が気になり心配でしたが台風が西に逸れたので予定通りに行く事が出来ました。

夕方には弟達も孫を連れて来て来ました。「久しぶりだなア姉ちゃん歳取ったなア」です。自分達もジイさんになっているのにと笑いながら楽しい時間を過ごしました。何より四年と言う月日を感じたのは、甥、姪の子供の成長でした。幼稚園に行つていた子が小学生になり赤ちゃんだった子が元気よく走りまわっていました。それより私の孫に驚いていました。孫は小学生の頃に連れて行つたきりだったので社会人になりバアちゃん

んを車で連れて来たので驚いていました。「優太君、またバアちゃんを連れて来てくれよな」と言われて嬉しそうでした。

私の弟に「優太お駄賃だ、ガソリン代だよ」とお小遣いをもらって大喜びでした。

何より兄弟皆年は取つていたが変わりなく元気でした。事に御先祖様に感謝しお線香を上げ、駐車場に転がっていた南瓜と西瓜をもらつて帰つて来ました。



## 大森びと

Vol.1

『金網公園での出会い』

鈴木 笑美さん

子供たちが小さい頃、近場でボール遊びのできる公園を探すのに苦労しました。そんな中、大森東の貴船堀公園付近にあり、子供たちからは「金網公園」と呼ばれている金網に囲われ砂地の細長い広場では球技の使用が認められており、そこでよくサッカーをしていました。親子だけでは物足りず、遊んでいるお兄ちゃん達を誘つて砂土で真っ黒になりながら一緒に楽しんでいました。息子が小学校に入學すると遊んでくれたお兄ちゃん達が息子のお世話をしてくれました。この地域の子どもたちは人懐っこく、とてもやさしい子が多いと思います。

## 森ヶ崎緑華園の紹介



都市基盤整備部 地域基盤整備第一課

地域基盤整備担当

令和四年四月に開園した森ヶ崎緑華園は、大森南圃場を改修してできた公園です。園内はバラ園・ハーブ園・春夏の木・秋冬の木・実のなる木などエリアごとに特色があり、四季折々の景色を楽しめます。公園のシンボルとなる大きな花壇ベンチには、大田区の十八色の緑づくりで選定されている地域の花が植えられています。蝶が好む草花も多く、園内を散策しながら蝶を探すのも一興です。蝶のほかに様々な生き物が生息しているため、殺虫剤は使用せず除草は手作業で行っています。また、園内の管理作業で発生した枝葉の一部はそのまま廃棄するのではなく、細かくカットして竹を砕いて作った竹粉と混ぜて土壌改良材にしたり、落ち葉は集めて腐葉土にしたりするなど環境にも優しい公園を目指しています。

管理棟内には、大田区立郷土博物館より資料提供された昔の森ヶ崎周辺の写真や川瀬巴水が描いた森ヶ崎の風景版画(レプリカ)を展示しており、郷愁にひたりながら花やみどりに関する書籍が閲覧できるちよっとした図書スペースがあります。

また、花やみどりに関する講座を月一回開催しており、種まきポット上げ・植え付け・花壇の手入れなど、どんな

そんな息子たちはもう高校生で、公園とは無縁の生活を送っています。が、先輩たちにしていただいた事への感謝と次世代の子供たちのために、地域活動にこれから少しづつ関心を持ってもらえたらいいなと思っています。



## 受賞おめでとうございませう

【令和五年度大田区交通安全功労者】  
平林 金好 (川端自治会)

【令和五年度大田区自治会・町会長  
大会二十年以上在職者 感謝状】  
小林 セツ子 (森ヶ崎自治会)  
(敬称略)

## 地域の行事

- ★いっつわふれあい祭り  
十月二十二日(日)
- ★いっつわの幸福祭  
十一月十一日(土)



たでも体験することができ。詳しい開催日は管理棟入口付近に設置しているガーデン講座のチラシをご確認ください。



## ガーデン講座

ガーデン講座でタネや苗の植付けをしました。



講座案内は、管理棟の中に置いてあります。

参加者 家でやれますが、みんなで作業するのは楽しいですね

## 集会所

管理棟の中には、会合や講座に使える集会所があります。(有料)使用申し込みが必要です。

4項に地図を載せています。ご参照ください。

## 森ヶ崎緑華園



## 編集後記

今年も四年ぶりに盆踊り、納涼踊りが開催されました。猛暑の中、浦守神社、大森南四丁目公園、貴船神社、大森東四丁目第二児童公園とそれぞれ大人も子供も大勢の方々の参加で盛大でした。これからは各種の行事があるでしょうが、グループ体操でいっつわでも元気で参加できます様に。

編集委員一同

「大森東 子ども美術館」記念すべき第1弾は、大森第四小学校1年生の作品を掲載しています。作品テーマは「消防写真会」です。皆様ご鑑賞ください。

## 大森東 子ども美術館

大森第四小学校 作品



1年1組 鬼澤 結愛さん



1年2組 青木 千佳さん



1年3組 宗原 陽翔さん

# いっしょのわ通信

長女と韓国

川端自治会 匿名

我が家の長女、現在大学三年生の話をさせていただきます。

長女は今から七年前の中学二年生の時に親友の親子の影響で韓国のアイドルにどっぷりハマりました。当時私はその様子を「ミスターに騒いで」と冷やかに見ていました。まさかその後自分までもが韓国ドラマにはまることになるとは知らずに(笑)

高校は韓国語の選択授業のある学校を自ら探し出し、片道一時間三十分の通学をすることに。

高校一年生の冬には、母娘で韓国旅行に行きました。韓国の冬はとも厳しく、晴天の日中の街中でも気温はマイナス一度。そんな中でも好きなアイドルの限定グッズを買うため整理券をもらうのに数時間並び、入店するために数十分並び。凍えながらもお目当てのグッズを買い、カフェで推しのスイーツを食べ、あこがれのアイドルを身近に感じる事ができた娘はとても満足気でした。その後も買い物や食べ歩き、覚えたての韓国語を読み解きながらバスや電車に乗っての移動は迷って逆に乗ってしまった。二泊三日と短い時間でしたが韓国カルチャーに触れ、大変良い旅になりました。

大学選びも決め手は「韓国」。留学

が必須な大学に進学し、去年の夏には念願の韓国留学にも行くことが出来ました。そんな学生生活を通じて自身が成長できそうな環境に、自ら飛び込んでいく事の大切さを学ぶ事が出来たようです。



現在はアルバイトに遊びにと忙しい長女も就職活動をスタートしました。どんな就職先とご縁があるのか分かりませんが、今後「韓国」がどのような形で彼女に影響するかは未知数ですが、親バカながら長女の自分で切り開き努力して進んで行ける力を信じて見守り、成長して行く姿を楽しみたいと思います。

## 防災塾二〇一七に参加して

大森東四丁目自治会 須山芳明

大田区により開催された防災塾二〇一七に参加しましたので、六年ほど経ちますが少し書かせていただきます。この防災塾は大田区十八出張所で開催され、当出張所では、二〇一七年八月二十九日に防災塾事前学習が行われ、「過去の災害から学ぶ防災の知恵」について約一時間学びました。内容はこれから訪れる宮城県東松島市の被害状況や大田区ボランティアの支援活動の内容等です。

現地研修は二〇一七年九月二日(土)から三日(日)の一泊二日です。宮城県東松島市を訪問し、津波による被害の様子とその後の復興の状況を見学するものです。大森東地区の自治会員と区担当者と大森東特別出

張所職員が一台のバスで、東松島市に向かい、宿泊は旅館の大広間で自炊(アルファ米等)しました。

初日午後一時半現地に到着し震災伝承館を見学し、ついで被災地(東名、野蒜地区等)を見学。二日目は野蒜市民センターで当地の方から震災についてお話を伺いました。地震の名称は東北地方太平洋沖地震です。基本情報二〇一一年三月十一日十四時四十六分十八、一秒震度六強、地震の種類は海溝型地震(逆断層型)、震源域は右手県沖から茨城県沖まで南北約五〇〇キロメートル、東西二〇〇キロメートルとのことです。野蒜海岸において、高さ一〇・三五メートルの津波を受け、浸水面積は東松島市全面積の三十六%、市街地の六十七%でした。死者一〇九名、行方不明二十五名、家屋全壊が五五一棟(うち流出一二六三棟)のことです。

防災直後の課題として、一刻も早く安全な場所へ避難する必要がある。避難時には季節に応じた準備(厳寒時には防寒服)が必要とのこと。

この防災塾の講師の方からの注意点は、避難時には電源ブレーカーをおとし、お薬手帳を持参し、普段から非常食を用意し、部屋にはくつやスリッパを用意するとよい等災害に対応した準備が普段から必要とのことでした。



## どじょうつかみ取り大会

大森東自治会 匿名

八月十九日(土)、わが自治会恒例の第十二回「どじょうつかみ取り大会」を四年ぶりに開催しました。四年ぶりのため、準備への少々不安がありました。自治会役員の頑張りで開催することが出来ました。当日は、特製プールを造り、どじょうを放し、子ども達はプールに入り、プールの中に歓声を上げながら、小さな手でどじょうをつかまえてもらい、参加人数は一九二人となりました。

また、「ヨーヨーつり」のコーナーもあったり、そして自治会自慢の「フランクフルト」や「かき氷」を用意しました。あっと二時間が過ぎ、子ども達も、おとなの人も楽しんでもらえたと思います。

大森消防署森ヶ崎出張所の皆さんには、「プールへの水入れ」や「水でつぼうによる消火訓練ゲーム」など、ご協力頂き、誠にありがとうございました。



# 夏行事コーナー

森ヶ崎水再生センター  
「ホタルの夕べ」  
〜四年ぶりの開催〜  
七月二十日に、当センターの夏のイベント「ホタルの夕べ」を四年ぶりに開催しました。今回は、ホタルを屋内展示し、七百名以上のご来場の皆様にお楽しみいただきました。



大森南自治会  
「納涼盆踊り大会」  
7月20日(木)〜21日(金)



大森東四丁目自治会  
「お子様たちの遊び&納涼おどり」  
8月5日(土)〜6日(日)



森ヶ崎自治会  
「盆踊り大会」  
7月25日(火)〜26日(水)



川端自治会  
「納涼映画会」  
8月26日(土)



大森東自治会  
「どじょうつかみ取り大会」  
8月19日(土)



大四小90周年記念  
「水遊び大会」  
7月15日(土)



中富小  
「中富まつり」  
8月26日(土)



## 地域包括支援センターの紹介

地域包括支援センター大森東  
センター長 佐藤 健一

地域包括支援センターの活動内容についてお伝えします。活動内容は65歳以上の方を対象に大きく4つに分けられます。まずは地域の方の『介護・福祉のことで相談したい』次に『元気に過ごしたい』そして『安心して暮らしたい』最後に『住み慣れた地域で暮らしたい』をお手伝いします。

具体的に『介護・福祉のことで相談したい』については、身内の方が病気やケガで介護サービスを利用したい、近所の高齢者を最近見かけないから心配だといった内容の相談などがあります。

次に『元気に過ごしたい』については、地域のみなさんが元気に生活を送れるよう、介護予防や認知症予防の体操などの機会をご紹介します。

そして『安心して暮らしたい』については、認知症などにより判断能力が不十分な方について、財産管理などの支援を行う成年後見制度の活用などで支援します。

最後の『住み慣れた地域で暮らしたい』は介護・福祉・保健・医療・地域団体などのさまざまな関係機関と連携し、地域の方を地域ぐるみで支援します。

地域の高齢者や家族の方が安心して暮らしていけるよう、介護にかかわる悩みや不安、疑問などがあるときは、いつでも私たちに相談ください。



### センター長 佐藤健一様にお聞きしました。

「高齢者見守りキーホルダー」という登録制度があり、評判を呼んでいます。これは65歳以上の方が対象で、緊急連絡先などを登録して有事の際、警察等からの照会に対し番号を用いて、いち早く情報を提供することができます。

佐藤センター長から頂いた話からも、地域包括支援センターでは、高齢者とその家族にとって、とても力になり役立つ支援を受けることができる制度があるため、ぜひ皆さん活用してみてください。

(取材：佐藤 恵美子、安藤 澄枝)



高齢者見守りキーホルダー見本